

「第 2 期地下水と土を育む農業の推進に関する計画」

令和 2 年度実績及び活動状況



令和 4 年（2022年）1月

地下水と土を育む農業推進県民会議

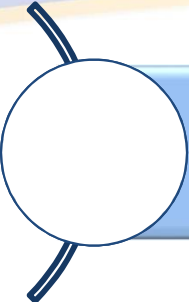


1 第2期計画の目標

(1) 県民理解の深化

(2) 地下水と土を育む農業の充実及び高度化

(3) 地下水と土を育む農業を支える仕組みの強化



2. 第2期計画における施策の展開

基本的施策Ⅰ 県民運動の展開

基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進

基本的施策Ⅲ 良質な堆肥生産と流通

基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

基本的施策Ⅴ 試験研究及び技術の普及

第2期地下水と土を育む農業の推進に関する計画の施策体系

基本的施策Ⅰ 県民運動の展開

1 県民会議による県民運動の展開	目標指標：県民会議の開催
2 広い世代への理解促進	目標指標：地下水と土を育む農業の学習者数 35,000人/年
3 販売・購入機会の拡大	目標指標：販売コーナー設置店舗数 200店舗

基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進

1 グリーン農業の生産拡大	目標指標：生産宣言者割合 販売農業者の70%
2 グリーン農業の高度化	目標指標：土壌分析による適正施肥指導数 13,000件/年 目標指数：高度なグリーン農業（特別栽培以上）に取り組む生産者宣言者割合 20%
3 グリーン農業の取組み効果の見える化	目標指標：化学肥料・農業の削減割合 20%削減（平成29年度比）

基本的施策Ⅲ 良質な堆肥生産と流通

1 良質な堆肥の生産推進	目標指標：たい肥の達人認定者数 30人
2 堆肥の広域流通の推進	目標指標：堆肥の広域流通量 92,000t

基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

1 水稻の作付拡大	目標指標：水稻の作付面積 42,600ha
2 白川中流域における水田湛水の拡大	目標指標：白川中流域水田かん養量 2,100万m ³
3 かん養効果の高い地域における水田湛水の拡大	目標指標：台地部等水田かん養量 570万m ³

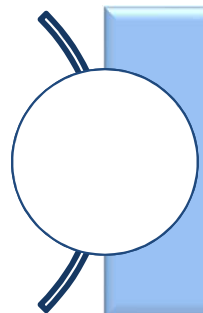
基本的施策Ⅴ 試験研究及び技術の普及

1 地下水と土を育む農業を支える試験研究	目標指標：環境にやさしい農業を進める技術の開発 技術開発数 10件/年
2 地下水と土を育む農業を支える技術の普及	目標指標：技術展示回数 11件/年

アクション

主な取組主体

	消費者	財団等*	農業者	J A	市町村	G委員会	連携協議	学校等	研究機関
1-① 県民会議における計画進捗管理	○	○	○	○	○	○	○		○
1-② 県民会議メンバーの率先行動	○	○	○	○	○	○	○		○
1-③ 企業、団体等の県民運動への参加	○	○							
2-① 地下水と土を育む農業の啓発	○	○	○	○	○			○	
2-② 未来を担う子ども達の育成		○		○	○				
2-③ 効果的な理解促進		○		○	○				
3-① 地下水と土を育む農業により生産された農畜産物等販売店舗の拡大		○	○	○		○			
3-② 認証制度等を活用した運動の展開	○	○	○	○		○			
1-① グリーン農業推進委員会によるグリーン農業の拡大		○	○	○	○	○			
1-② グリーン農業生産宣言者数の拡大		○	○	○	○	○			
2-① 土づくりと土壌分析の推進			○	○	○	○	○		○
2-② グリーン農業の取組み高度化を支援			○	○	○	○	○		
2-③ 有機農業への取組み拡大支援			○	○	○	○	○		
3-① グリーン農業に取り組む水田や畑における生物多様性の啓発		○			○	○		○	
3-② グリーン農業の生物多様性に対する貢献度を周知		○			○	○			○
1-① 畜産農家の良質な堆肥生産に必要な情報の提供			○	○	○		○		
1-② 堆肥共助会の開催等			○	○	○		○		
2-① 堆肥の広域流通促進			○	○	○		○		
2-② グリーン農業産地とのマッチング			○	○	○		○		
1-① 主食用米の生産振興			○	○	○				
1-② 新規需要米の生産拡大及び生産流通体制整備に対する支援			○	○	○				
2-① 水田への湛水等積極的な地下水かん養	○	○	○	○	○				
2-② 地下水かん養地域における水田の確保	○	○	○	○	○				
3-① かん養効果の高い地域における水田への湛水等積極的な地下水かん養	○	○	○	○	○				
1-① 環境にやさしい農業を進める技術の試験研究						○			○
1-② 家畜排せつ物の適正処理と利用拡大を支える技術の試験研究						○			○
1-③ 水田の利用拡大、地下水かん養を支える技術の試験研究						○			○
1-④ 地下水と土壌のモニタリング及び水田かん養力調査		○							○
1-⑤ 県内大学等と連携した調査研究の実施								○	○
1-⑥ 調査研究成果の発信		○							○
2-① 技術展示実証ほの設置			○	○	○	○			○
2-② 化学肥料低減技術、IPM技術等の紹介			○	○	○	○			○



3 第2期計画の令和2年度実績及び 活動状況

基本的施策 I 県民運動の展開

I - 1 県民会議による県民運動の展開



I - 2 広い世代への理解促進



I - 3 販売・購入機会の拡大



基本的施策Ⅰ 県民運動の展開

プログラムⅠ－1 県民会議による県民運動の展開

アクション

- 1 県民会議における計画進捗管理
- 2 県民会議メンバーの率先行動

目標指標 県民会議の開催

令和2年度実績

幹事会 12月 開催
県民会議 1月 書面開催

令和3年度活動

幹事会 11月 開催



【地下水と土を育む農業推進県民会議 幹事会】

基本的施策Ⅰ 県民運動の展開

プログラムⅠ-2 広い世代への理解促進

アクション

- 1 地下水と土を育む農業の啓発
- 2 未来を担う子ども達の育成
- 3 効果的な理解促進

目標指標

地下水と土を育む農業の学習者数
26,500人/年→35,000人/年

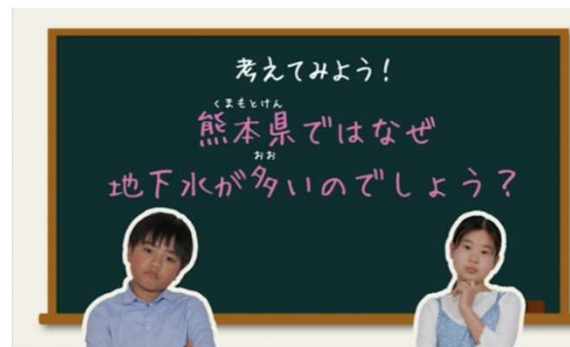
令和2年度実績 22,071人/年

令和3年度活動

※くまもとグリーン農業
応援宣言数の拡大



H30:28,785人
↓
R2 : 33,797人



【学習教材用動画作成】



【学習教材実証授業】

基本的施策Ⅰ 県民運動の展開

プログラムⅠ－3 販売・購入機会の拡大

- アクション**
- 1 地下水と土を育む農業により生産された農畜産物等販売店舗の拡大
 - 2 認証制度等を活用した運動の展開

目標指標 農畜産物等販売コーナー設置店舗数
150店舗→200店舗

令和2年度実績 販売店舗 186店舗



ホテル日航熊本HP掲載画像

【グリーン農業弁当の開発・販売】

- グリーン農業農産物を使用した弁当をホテル日航熊本日本料理店「弁慶」で開発
- R3年2月に土日祝の期間限定でテイクアウト販売

令和3年度活動

- 物産館等での弁当開発

【生活情報誌でのPR】 くまにちすぱいす R3.2.19号

くまもとグリーン農業をみんなで応援しよう!

熊本では、化学肥料や農薬をできるだけ減らし、環境にやさしくくまもとグリーン農業を推進しています。私たち消費者がグリーン農業で育てられた野菜を選択し、食へることは、生産者の励みになり、ひいては熊本県環境を守ることに繋がります。「くまもとグリーン農業」について学びとともに、物の産源を使った料理に挑戦してみよう!

減ったお薬	減った水	減った肥料	減った農薬	エコファーマー	環境にやさしい農業
0%	0%	50%以上減	50%以上減	30%増産の生産者	環境にやさしい農業
0%	0%	50%以上減	50%以上減	減産率10%以内の生産者	環境にやさしい農業

熊本の春野菜で 彩りごはん

プロッコリーとミニトマトのパンキッシュ

春キャベツのロールカツ

地下水と土を育む農業 応援キャンペーン 実施中!

【応援キャンペーン】

令和3年度活動

◇期間 令和3年10月23日（土）～ 同12月26日（日）



地下水と土を育む農業
くまもとグリーン農業
応援キャンペーン

※令和2年度

◇期間：令和3年1月9日（土）～ 同3月8日（月）

◇参加店舗：総数70店舗

◇応募者数：3,489通（59.1通／1日）

※1日あたりの応募者数でR1比の約5割増



地下水と土を育む農業・くまもとグリーン農業の農産物

A賞 えこめ牛・あそび豚セット 30名様

B賞 菊池米10kg (グリーン農業 特別栽培対象商品) **60名様**

C賞 グリーン農業 旬の野菜詰め合わせ (グリーン農業対象商品) **100名様**

地下水と土を育む農業・農産物、および、くまもとグリーン農業・農産物に付いているマークを集めて応募すると、抽選で賞品いずれかをプレゼント!

マークは全部で7種類。この中から3枚集めて応募してね!

※地下水と土を育む農業とは、地下水の水質や量の保全、地力の増進のため、土づくりとともに化学合成肥料・農薬をできるだけ減らした農業や水田への水張り、肥料用の米づくりなどの取組を行う農業です。



基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進

Ⅱ-1 グリーン農業の生産拡大



Ⅱ-2 グリーン農業の 高度化



Ⅱ-3 グリーン農業の取組み 効果の見える化



基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進

プログラムⅡ - 1 グリーン農業の生産拡大

アクション

- 1 グリーン農業推進委員会によるグリーン農業の拡大
- 2 グリーン農業生産宣言数の拡大



くまもとグリーン農業

目標指標

グリーン農業生産宣言者割合
販売農業者の **52%→70%**

令和2年度実績 **65%**

令和3年度活動

グリーン農業推進委員会 10月開催



【グリーン農業推進委員会】

基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進



くまもとグリーン農業

プログラムⅡ - 2 グリーン農業の高度化

アクション

- 1 土づくりと土壌分析の推進
- 2 グリーン農業の取組み高度化を支援
- 3 有機農業への取組み拡大支援



【土壌断面調査】

目標指標

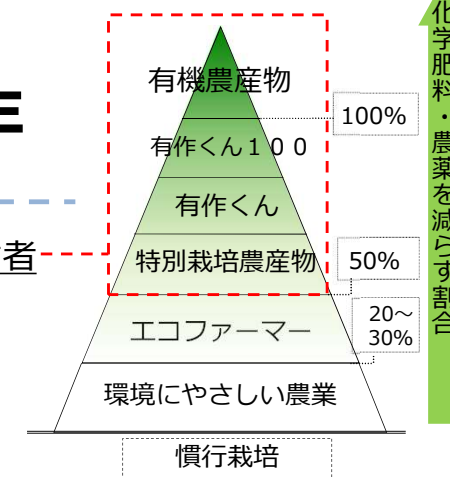
- 土壌分析による適正施肥指導数
8,380件/年 → 13,000件/年
- 高度なグリーン農業（特別栽培以上）
に取り組む生産宣言者割合
販売農業者の 13.7% → 20%

令和2年度実績

7,782件/年

特別栽培以上の生産宣言者

17.4%



基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進

プログラムⅡ - 3 グリーン農業の取組み効果の見える化



くまもとグリーン農業

アクション

- 1 グリーン農業に取り組む水田や畑における生物多様性の啓発
- 2 グリーン農業の生物多様性に対する貢献度を周知

目標指標

化学肥料・農薬の削減割合 20%削減（平成29年度比）

令和2年度実績 化学肥料 7.1%削減／化学農薬 1.8%増加



【天敵利用による農薬削減】

基本的施策Ⅱ グリーン農業の推進



令和3年度の動き

熊本県農業コンクールに 「グリーン農業賞」を新設

3部門の受賞者の中から、環境にやさしい農業に取り組む生産者を選定して授与

熊本県農業コンクール

経営
体部
門

新人
王部
門

地域
農力
部門

地域
貢献
賞

農業
貢献
賞

令和3年度 受賞者

新人王部門

鳥越 靖基 氏
鳥越 万里子 氏

【山都町／有機農業／人参・ピーマン】

- ・県外から新規参入し、有機農業で安定した販路を確保
- ・耕作放棄地の解消や地元の魅力発信により地域の活性化に貢献

新人王部門

伊藤 将宏 氏
伊藤 今日子 氏

【山鹿市／有機農業／イチゴ】

- ・県外から新規参入し、難易度の高い有機イチゴ栽培技術を確立
- ・有機農業を志向する研修生を受入れ、人材育成に貢献

地域農力部門

霍田 崇 氏
霍田 朋子 氏

【菊池市／減化学農薬・化学肥料不使用／メロン・米】

- ・化学農薬や肥料を極限まで削減し、持続的な農業を実践
- ・子どもたちへの食農活動を実施

基本的施策Ⅲ 良質な堆肥生産と流通

Ⅲ - 1 良質な堆肥の生産推進



Ⅲ - 2 堆肥の広域流通の推進



基本的施策Ⅲ 良質な堆肥生産と流通

プログラムⅢ－1 良質な堆肥の生産推進

アクション

- 1 畜産農家の良質な堆肥生産に必要な情報の提供
- 2 堆肥共励会の開催等

目標指標：たい肥の達人認定者数
26人 → 30人

令和2年度実績 26人

令和3年度活動

堆肥共励会 11月 開催



【堆肥共励会の現地審査】

基本的施策Ⅲ 良質な堆肥生産と流通

- 17 -

プログラムⅢ-2 堆肥の広域流通の推進

アクション

- 1 堆肥の広域流通促進
- 2 グリーン農業産地とのマッチング

目標指標

堆肥の広域流通量

74,011 t → 92,000 t

令和2年度実績

76,162 t



【マニアスプレッダーによる堆肥の散布】

基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

Ⅳ－ 1

水稲の作付拡大



Ⅳ－ 2

白川中流域における水田湛水の拡大

Ⅳ－ 3

かん養効果の高い地域における水田湛水の拡大



基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

プログラムⅣ-1 水稲の作付拡大

アクション

- 1 主食用米の生産振興
- 2 新規需要米の生産拡大及び生産流通体制整備に対する支援

目標指標

水稲の作付面積

42,300ha → 42,600ha

令和2年度実績

42,336ha



【水稲の作付】

基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

プログラムⅣ-2 白川中流域における水田湛水の拡大

アクション

- 1 水田への湛水等積極的な地下水かん養
- 2 地下水かん養地域における水田の確保

目標指標

白川中流域水田かん養量

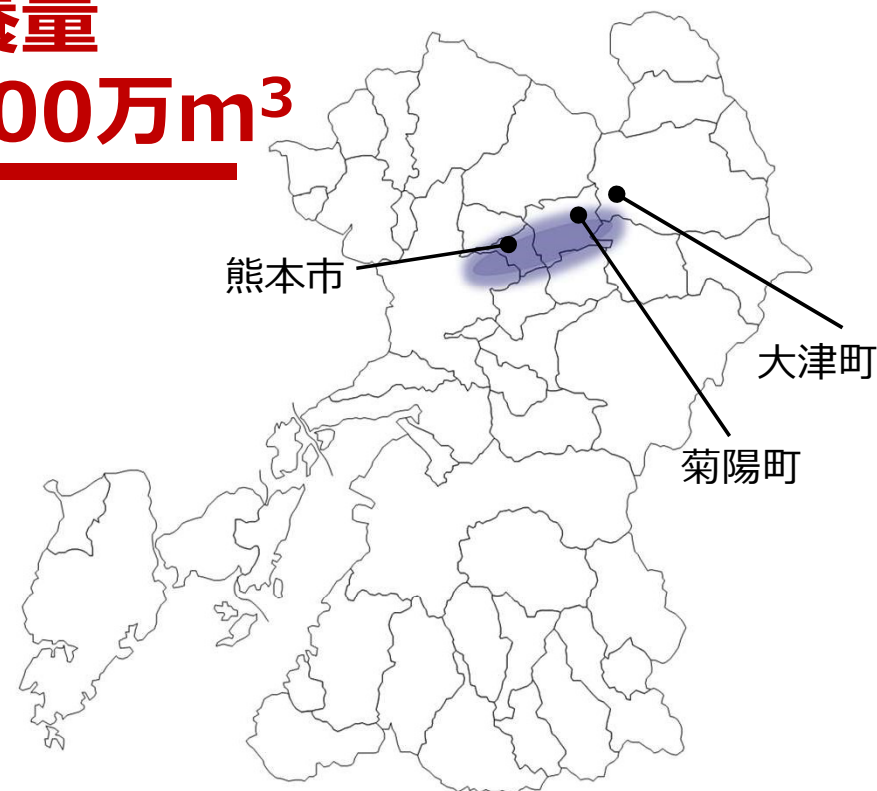
1,507万 m^3 → 2,100万 m^3

令和2年度実績

: 1,774万 m^3



【白川中流域における水田湛水】



【白川中流域】

基本的施策Ⅳ 水田湛水の推進

プログラムⅣ-3 かん養効果の高い地域における水田湛水の拡大

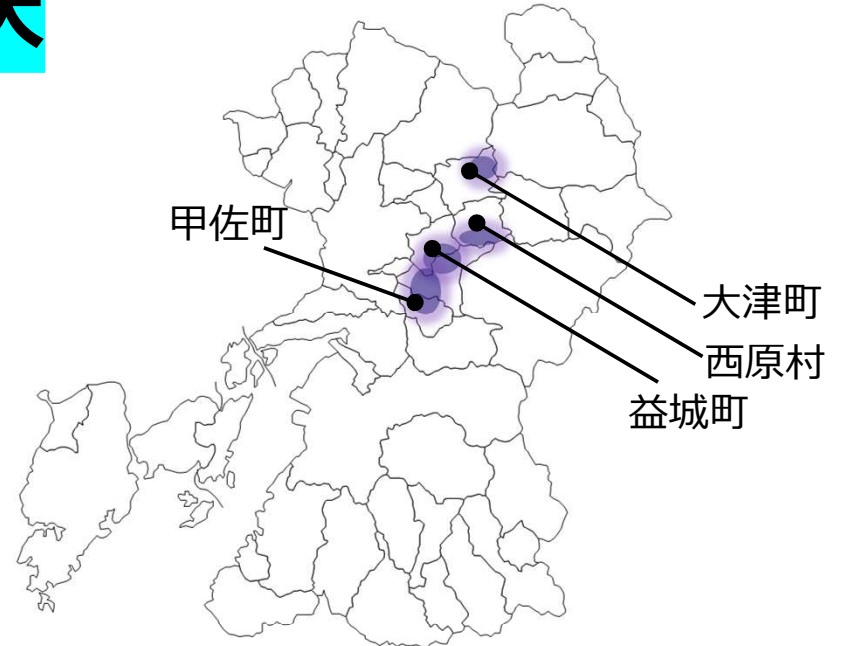
アクション

かん養効果の高い地域における水田への湛水等積極的な地下水かん養

目標指標

台地部等水田かん養量
346万m³ → 570万m³

令和2年度実績 349.3万m³



【かん養効果の高い台地部等地域】



【台地部等における水田湛水】

基本的施策Ⅴ 試験研究及び技術の普及

V - 1

地下水と土を育む農業を支える
試験研究

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



V - 2

地下水と土を育む農業を支える
技術の普及

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



基本的施策Ⅴ 試験研究及び技術の普及

プログラムⅤ - 1 地下水と土を育む農業を支える試験研究

アクション

- 1 環境にやさしい農業を進める技術の試験研究
- 2 家畜排せつ物の適正処理と利用拡大を支える技術の試験研究
- 3 水田の利用拡大、地下水かん養を支える技術の試験研究
- 4 地下水と土壌のモニタリング及び水田かん養力調査
- 5 県内大学等と連携した調査研究の実施
- 6 調査研究成果の発信

目標指標

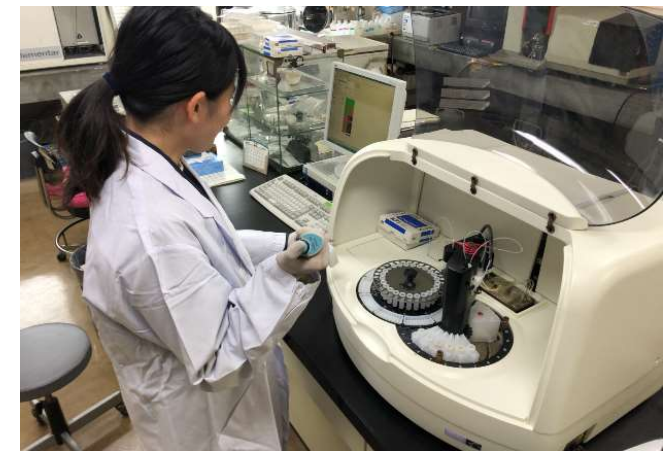
環境にやさしい農業を進める技術の開発

技術開発数

8.3件/年 (H27~H30平均) → 10件/年

令和2年度実績

8件



【土壌中の肥料成分分析】

基本的施策Ⅴ 試験研究及び技術の普及

プログラムⅤ－2 地下水と土を育む農業を支える技術の普及

アクション

- 1 技術展示実証ほの設置
- 2 化学肥料低減技術、IPM技術等の紹介

目標指標

技術展示ほ数

10.8件/年

→11件/年



【農薬の代替となる
土壌消毒試験】

令和2年度実績

9件

令和3年度活動

【環境保全型農業推進モデル展示ほ】

地域		内容
1 熊本	イチゴ	天敵資材利用【減農薬】
2 宇城	キュウリ	天敵・物理的防除資材利用【減農薬】
3 宇城	ナス	物理的防除資材利用【減農薬】
4 菊池	スイカ	有機JAS適合防除資材利用【減農薬】
5 玉名	ナシ	肥効調節型肥料利用【減肥料】
6 鹿本	キク	畝立同時施肥技術【減肥料】
7 県南	イチゴ	天敵資材利用【減農薬】
8 芦北	茶	フェロモン剤利用【減農薬】
9 球磨	ホオズキ	天敵資材利用【減農薬】
10 天草	キンギョソウ	物理的防除資材利用【減農薬】

4. 計画の推進にあたって

県民会議

各メンバーが率先し、連携をしながら、計画を推進

